

授業概要

企業には大企業と中小企業がある。大企業は商品や広告によって全国的に知名度も高いのだが、中小企業は地域の中で身近にある商店や企業以外はあまり知られていない。活動地域が限られていることや下請けや部品生産など、流通の中間に位置する企業も多く、一般消費者などの目に触れる機会が少ないためである。しかし、中小企業は日本の事業者数の99.7%を占め、中小企業で働く従業者は全従業者数の約7割を占めるなど、日本経済を支える大きな存在である。日本の企業の生産性が改善されないのは生産性の低い中小企業が多いからではなく、大企業が継続的に事業を行うことができるは、それを陰で、地域の経済を支えている多くの中小企業あるからである。その業種や規模は様々であり、中小企業の実態がわかりにくくなっているのが実情である。

授業計画

第1回	中小企業の現状
第2回	中小企業の経営
第3回	業種別の中小企業
第4回	中小企業の課題
第5回	中小企業の可能性
第6回	中小企業の経営力向上
第7回	ケーススタディのグループディスカッション
第8回	ケーススタディのグループディスカッション
第9回	中小企業だからできる生産性改革【プレゼンテーション】 ★株式会社 コープデリバリー★株式会社 グランディア芳泉
第10回	中小企業だからできる生産性改革【プレゼンテーション】 ★株式会社 大都★株式会社 グリーンケア
第11回	社員の声で創る新しい会社【プレゼンテーション】 ★サワダ精密 株式会社★坂西精機 株式会社★株式会社 ナオミ
第12回	ICTが生み出す新しいチャンス【プレゼンテーション】 ★有限会社 まるみ麴本店★株式会社 正田製作所
第13回	ICTが生み出す新しいチャンス【プレゼンテーション】 ★株式会社 共進★株式会社 カケハシ・スタイル
第14回	持続企業の土台を支えるネットワーク【プレゼンテーション】 ★有限会社 有吉農園★シンセメック 株式会社★シタテル 株式会社
第15回	持続企業の土台を支えるネットワーク【プレゼンテーション】 ★株式会社 河西精機製作所★珈琲とパンの店 美豆木
第16回	期末テスト

到達目標

本講義は、中小企業の多様な実態や課題、中小企業の可能性を解説する。そして、中小企業経営者が自らの経営を振り返るきっかけになれば幸いである。大学進学率が55%の現在、卒業生の多くが中小企業に就職するが、多くの場合、大企業と中小企業の違いは、規模や知名度、労働条件の差といった理解にとどまっている。本講義により、中小企業への理解が進み、就職を考える学生の参考となるように理解できる。

履修上の注意

学生と講師によるディスカッションを本講義では大切にしたいと考えている。

予習・復習

★事後学習として、授業で取り上げるケーススタディに関する課題レポートを課す。★企業を取り巻くグローバル経済・社会の最近の動向について、新聞記事・テレビでニュース・インターネット等を活用し企業の経営活動や経営戦略を定期的にフォローすること。★関心のある企業の「経営戦略」（多くの企業で「中期経営計画」として企業のホームページでの「企業情報」や「IR（投資家向け情報）」に公表されている）を読み（ホームページで閲覧可能）、専門用語等についての理解を深めておくことが望ましい。★本講義では、学生と講師によるディスカッションを大切にしたいと考えている。

評価方法

1) 期末試験(30%) 2) プレゼンテーション(50%) 3) 講義への貢献度、グループ討論、リアクションペーパー(20%)

テキスト

- ・教科書名：『中小企業の基本と仕組みがよくわかる本』
- ・著者名：阿部守
- ・出版社名：秀和システム
- ・出版年（ISBN）：2023（978-4798068985）

また、教員オリジナルの資料も使用する。実際の経営資料等も含まれるため事前配布は行わない。必要に応じて、授業後に配布可能なスライドを配布する。